

- 実施主体 湯浅陸雄
- 実施場所 阿蘇地域
- 実施期間 平成31年4月1日～令和2年7月
(希望者への配布を継続中)



<背景・ねらい>

阿蘇地域の世界文化遺産登録に向けた様々な取り組みが進められているが、地域一丸となった登録への機運醸成の基礎として、阿蘇の文化や草原に関して各人が学び知識を深めていく必要がある。

そこで本活動では、その一助となる阿蘇の文化や草原に関わる資料を取りまとめて印刷し、広く配布する。

■実施概要

○これまでに実施した1年1研究の成果や様々な文献・資料により得られた知見を原稿にまとめ、冊子として印刷・配布した。

- ・印刷部数 300部 (110ページ)
- ・原稿の編集作業：令和元年7月～令和2年3月
- ・校正作業：令和2年4月
- ・印刷・製本 (外部発注)：4月末、6月末
※当初は200部印刷、その後6月に100部増刷
- ・配布：5月～7月



「語りつぐ阿蘇の草原」

■実施体制

- ・湯浅陸雄 (原稿の執筆)
- ・原稿の構成や編集については、阿蘇草原再生協議会構成員有志が協力した。
- ・本活動は阿蘇草原再生募金第9弾の助成を受けて実施した。

■成 果

- ・冊子は「語りつぐ阿蘇の草原」と題して、草原の農畜産業利用や文化的な側面、そこにくらす野生生物など、広範囲な分野にわたって記録している。資料編も含めて、計110ページとなった。これを300部発行し、草原再生に関わる団体や個人、地域の教育施設に広く配布した。また、新聞掲載を見てお問い合わせのあった希望者にも配布している。
- ・本冊子を通して、草原と人の関わりの記憶を後世へ伝えていくことができる。また、阿蘇地域の世界文化遺産を目指す上で蓄積が必要な知見として貢献できると考えている。

■実施者の感想

- ・本冊子の発行について新聞各紙にも取り上げていただき、一般の方からも問い合わせがあった。世界文化遺産登録に向けて、より多くの方に阿蘇の草原や文化について知っていただけるよう、これからも取り組んでいきたい。